

## 上北沢桜並木 ソメイヨシノ接木作業報告

2009年3月6日

佐藤信二郎

3月5日(木) PM1:00より、下記のように接木作業を行いました。報告いたします。

1. 場所：小金井公園後継樹育成苗圃
2. 参加者：小金井公園桜守の会 伊藤正義 他数名  
日本花の会多摩支部 中原修 他1名  
上北沢桜並木会議 佐藤信二郎  
青木俊江  
東京農工大名誉教授 相場芳憲
3. 目的：それぞれの桜の古木の接木  
笠森稻荷／山桜(文治元年)、  
名称小金井桜(山桜)、  
上北沢桜並木(80年)

上北沢桜並木では、キノコや老齢化によって毎年1-2本のソメイヨシノが枯れている。今後更に、水道工事によって大量のソメイヨシノが、枯れる可能性もある。

このような状況に対応して、80-60年の古木から穂木を採取し、接木を行って、ソメイヨシノの子孫を残していく。

#### 4. 作業内容：

小金井公園桜守の会で用意していただいている実生から育てた台木(オオシマザクラ)に、上北沢桜並木から採取(主にひこばえから)した穂木(14本のうちから)13本の接木を行った。





(要領)

- ①台木の根本から5 cmより上部を切り取る。
- ②台木の側面に約3-4 cmの切込みを縦に入れる。
- ③接ぎ穂の枝（あらかじめ斜めの切り込みを入れる）を差込み、穂木と台木の形成層を合わせる。
- ④接着テープで下から巻上げ、きつく縛る。
- ⑤乾燥防止のため、枝の上部にトップジンMを塗布して完成。
- ⑥名札をつける。

以上